

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	47	人材不足もあり、個別ケアに関われる時間に制限がある。	自立支援を念頭に置き、その方が楽しみながら活動に参加でき、また能力維持ができる様に支援する。	チームでの課題分析を行い、能力に合わせた役割を持っていただき取り組んで行く。	6ヶ月
2	39	コロナ過において、外出して外食を楽しむ機会が減っている。	おうち時間を有効に、テイクアウトを活用し、施設に居ながらも食べる楽しみを提供していく。	新聞広告やテイクアウトメニューを見ながら、意向調査を行い、自己選択、自己決定の機会を増やしていく。	6ヶ月
3	6	虐待・身体拘束廃止に向けて独立委員会を発足する。	委員会を中心とした、勉強会の実施とゼロにむけて職員間への意思統一を図る。	年間1回以上の勉強会と2カ月毎の委員会での検証。	6ヶ月
4	13	介護職員の確保・定着を図り、介護力の格差を減らす。	年間の研修等を通じて、必要な知識・技術を身に付け、安定した介護サービスを提供する。	上司と共に、個人の目標設定を明確にして、利用者一人ひとりの生活の質を向上させる。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。